

# Narajaisc Special Edition

グローバル女性人材養成プログラム (フィリピン)



8/20-9/2の14日間、国際戦略センター(奈良女子大学)主催で、2023年度グローバル女性養成プログラム(フィリピン セブ島)を実施し、奈良女子大学から15名が参加しました。

今回の研修では、QQEnglish セブ島ITパーク校で、14日間のマンツーマンの英語レッスンを受けました。校舎内にある学生寮が併設(2022年完成)されており、研修期間中はこの学生寮で宿泊しました。研修の合間には、カフェへ出かけたり、街へ出かけたりし、週末には海でマリンスポーツを体験しました。また、奈良女子大学生だけでなく、研修先で知り合った留学生とも交流があったようで、食事したりお話ししたりして、たくさんの国際交流ができました。この特別号では、参加した学生の感想を紹介します。

\*\*\*\*\*

参加費の一部は  
廣岡米子国際奨学金  
より補助しています

\*\*\*\*\*



## プログラムに参加して学んだこと、感じたこと

英会話を十分に鍛えることができ、講師や現地の人などの英語話者と英語で話すことへの抵抗がなくなった。

また、授業中の講師たちとの会話や、授業終わりや休日に街中に出るタイミングで、現地の人々の生活環境や街の様子を目の当たりにして、様々な観点から日本との違いを学ぶことができた。これらは自分にとって最も衝撃的かつ貴重な体験だったので、今後の生き方やその他物事を考える際に活かしたいと思った。そして、これをきっかけに英語力向上への努力を今後も絶やさず続けていきたいと考えた。

研修前は英語力が落ちて、どんどん勉強するのが嫌になっていましたが、今回の研修で英語を勉強する楽しさを初めてといてもいいくらい感じる事ができました。

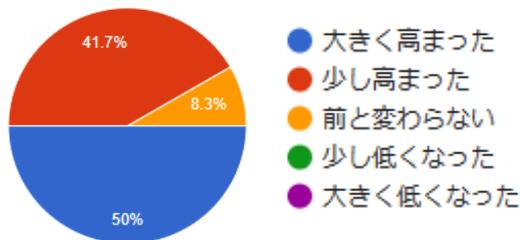
まだまだ自分の言いたいことを説明できなかつたり、語彙力がないことを実感したので、単語帳やオンラインレッスンで継続したいと思っています。また、さらに英語力を伸ばして、それを活かした仕事を探したり、海外旅行をしたいなと思います。

世界は広くて人生をもっと楽しむべきだと感じた。そして英語を話せると自分の世界がぐっと広がったと思った。今後も英語学習を続けて、自分の可能性を広げていきたいと思う。

研修への参加目的でもあった、英語で話すことへの抵抗感をなくすという目標は、授業だけでなく授業外での街でのコミュニケーションなどにもよって達成できたと思う。頑張っ言葉をつないで自分の考えを話せば、相手は自分の意図を読み取ってくれるのだと気づけたのはよかった。しかし、今回の2週間のプログラム期間中、自分が思っていたよりも英語が話せると感じる時もあるなとこんな簡単なこともパッと話せないのだろうと感じる時も両方あった。雑談を交えた会話を楽しむことはできていても、自分の思っていることに最も適切な表現が頭の中ですぐに思いつかないのは悔しいことだと感じたし、やはり自分にはリスニング力に比べてスピーキング力がまだまだ足りていないことが明らかになった。今後の学習では、今回の経験を踏まえて英語の歌やポッドキャストを聴いたり映画を見たりしてリスニング力を伸ばしつつ、オンライン講座やバイト先での外国人観光客の方との会話を積極的に行うことでスピーキング力を伸ばしていきたいとより強く思うようになった。

そしてまたいつか海外に旅行する時にはスマホにあまり頼らなくてもある程度会話ができるレベルになりたいと思う。

Q. 研修終了後、海外留学への関心は高まりましたか？



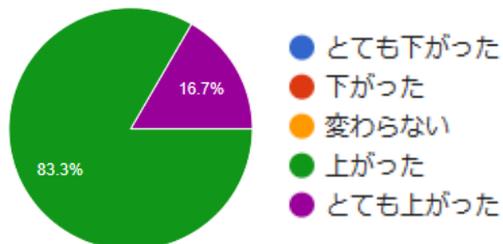
日本で英語を学ぶのとは全く違ったから。日本ではreadingを学ぶことはできるが、speaking、listeningに関しては海外で実際に会話を重ねることで磨かれると感じたから。

今まで留学にあまり興味を持たずに参加しましたが、留学によって英語力が伸びるだけでなく、海外と日本の環境の差を実際に知り、海外で起こっている問題についても考えるきっかけにもなりました。

1ヶ月くらいあればもっと成果を実感できると思うから。

海外の人とコミュニケーションをとることはそんなに難しいことではないと感じたから。

Q. 今回の研修によって、自分の語学力はどのように変化しましたか？



Q. どのようなときに、そう感じましたか？

- たくさん英語を話している自分に気がついた時。行きより帰りの飛行機の方が英語のアナウンスがよく聞き取れた時。
- 自己紹介が上手くできた、習った表現を授業で使えた時。
- 英単語がすらすら出てきて先生とのコミュニケーションがうまく行った時。
- 授業での先生の話している内容が徐々に聞き取れるようになった時、自分の考えを少しずつ英語で説明できるようになった時。
- 現地の人々の英語が理解できた時。
- 慣れてくるにつれて、授業の中でも日常生活の中でも言いたいことが言えて、相手に伝わった時。

奈良国立大学機構 国際戦略センター

NEWSLETTER グローバル女性人材養成プログラム(フィリピン) 特別号 2023年9月発行

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

TEL: 0742-20-3736

Email: iec@cc.nara-wu.ac.jp